



令和8年1月 第89号

発行

とびうめクラブ福岡  
(公益社団法人 福岡県老人クラブ連合会)

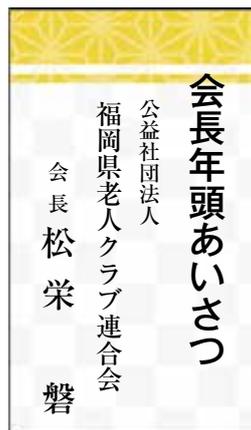
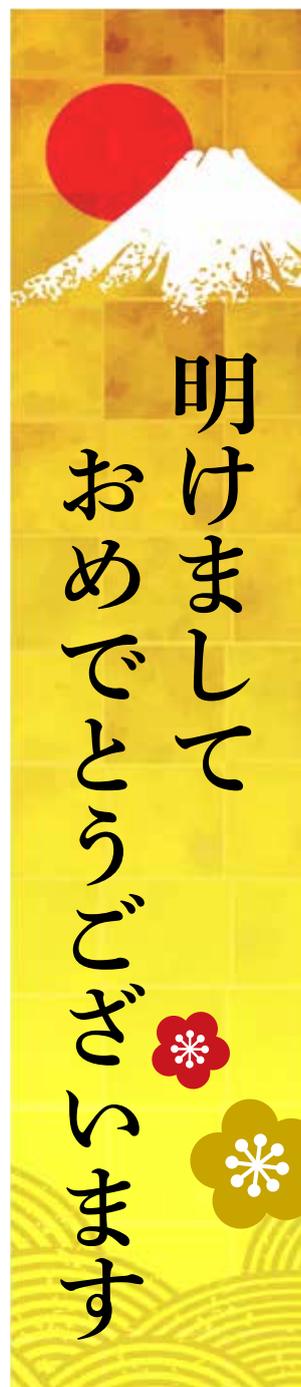
〒816-0804 春日市原町3-1-7  
クローバープラザ内  
TEL (092) 582-9860  
FAX (092) 582-9870



<b>目次</b>	年頭のあいさつ 会長 松栄 馨 ————— 2	京 築 地 区 【吉富町寿会連合会】
	新年のあいさつ 福岡県知事 服部 誠太郎 — 3	会員増強運動受賞クラブの紹介 ————— 15～20
	令和7年度の主な行事 ————— 4～10	高齢者福祉功労者表彰
	地区からの発信 ————— 11～14	(知事表彰・県老連会長表彰) ————— 21～23
	福 岡 地 区 【福津市シニアクラブ連合会】	「福岡県老人クラブ会員増強運動」表彰
	北筑後地区 【小郡市老人クラブ連合会】	————— 24～25
	南筑後地区 【柳川市老人クラブ連合会】	傷害保険・賠償責任保険で安心補償 ————— 26
	筑 豊 地 区 【田川市老人クラブ連合会】	2025年度 指定旅館のご案内 ————— 27～28

この機関誌は、共同募金の配分金により発行されたものです。





新年あけまして  
おめでどうございます

皆様におかれましては、晴れやかな新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和八年元旦

皆様方には、平素より福岡県老人クラブ連合会の諸活動に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、コロナ禍後の社会が落ち着きを取り戻す中で、各クラブにおいてスポーツやサークル活動、地域貢献を目的とした奉仕活動などが再び活発に展開されました。仲間と共に汗を流し、語らい、支え合う姿を目にするたびに、老人クラブが持つ力強さを改めて実感いたしました。健康づくりと交流の大切さを再認識し、未来へとつなぐ希望を感じる一年であったと存じます。

県老連では、今年度も市町村老連の会長や事務局長、単位クラブの新任会長、会員の皆さん等を対象とした各種研修会や会議を積極的に実施してまいりました。

グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンクの三大スポーツ大会も、皆様のご協力のお陰で当初の予定通りすべて実施することができました。

また「のぼそう！健康寿命、担おう地域づくりを！」をメインテーマに様々な健康づくり活動を実施いたしました。

老人クラブは、単なる集いの場ではなく、学びと楽しみを共有し、互いに支え合う地域の大切なコミュニケーションです。

その価値を次世代へと継承していくためにも、まず既存の会員の皆様が積極的に活動に参加し、「楽しさ」と「充実感」を実感できる場を築くことが肝要です。その姿こそが新しい仲間を迎える大きな力となります。

退職直後の方々や地域で新しい仲間を求める方々に、老人クラブの楽しさと意義を広く伝え、

参加の輪を広げていくために皆様一人ひとりの呼びかけが大事であり、それが新しい会員の加入につながっていくものと思います。

「会員増強運動」では、五つの市町村老連を含む百十二団体が表彰を受けるなど、素晴らしい成果を上げていただきました。心から御礼を申し上げます。本年度も二月及び三月を「会員増強強化月間」とし、様々な成功事例を共有しながら、県老連一丸となって、さらなる会員増強を目指してまいります。今後ともご協力の程何卒よろしく申し上げます。

新しい年は、新しい希望に満ちています。どうぞ本年も、老人クラブの活動に積極的にご参加いただき、共に笑い、共に学び、活気ある老人クラブづくりに向けて共に歩んでまいりましょう。皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、本年が老人クラブ活動の更なる充実と地域社会の発展に資する一年となりますようお願い、ここに新年のごあいさつといたします。

# 新年のあいさつ

福岡県知事

服部 誠太郎



新年明けましておめでとうございます。

皆さま方には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

福岡県老人クラブ連合会におかれましては、日ごろから、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のテーマのもと、スポーツ大会などの健康づくり活動や一人暮らしの高齢者への友愛訪問、こどもの見守り活動など地域に根差した活動に取り組まれ、地域福祉の発展に大き

く貢献いただいております。松栄会長をはじめ役員の方々、会員の皆さまの熱意と努力に深く敬意を表し、心から感謝申し上げます。

さて、本県では、高齢化率が二十八%を超えて約四人に一人が高齢者となっており、今後さらに高齢化が進むことが見込まれています。

一方で、県内各地域では世代間交流の希薄化や地域コミュニティの弱体化などにより、地域が持っていた助け合い、支え合う機能が低下しています。

このような状況だからこそ、老人クラブの皆さまが豊富な知識と経験を最大限に発揮され、地域を元気に盛り上げていただくことが、地域の活力を維持していくために欠かせないと考えています。皆さまのさらなるご活躍を期待するとともに、県としても後押しをしてまいります。

県では、県民の皆さまの健康寿命を延ばすことを目指し、福岡県老人クラブ連合会にも参画いただく「ふくおか健康づくり県民会議」を設立し、「健（検）

診受診率の向上」、「食生活の改善」、「運動習慣の定着」の三つを柱とした「健康づくり県民運動」を推進しています。

その中でも、スマートに賢くソルト（塩）を使う減塩プロジェクト「TRY！スマソる？」では、県産食材を使った減塩で美味しいレシピや減塩のコツなどをホームページで紹介しています。他にも、運動や健康に関するおトクな情報をお届けするサイト「ふくおか健康ポイント+」では、おすすめ運動の動画や専門家監修の健康コラムを掲載しています。是非、食生活の改善や日ごろの運動の参考にさせていただきます。

また、県では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、「地域共生社会」の実現を目指しています。このため、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築や、地域の特性に応じた認知症施策や介護サービス提供体制の整備促進などに市町村と連携して取り組んでまいります。

今後も、誰もが住み慣れたところで元気に、安心して暮らすことができる社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。老人クラブの皆さまの一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、福岡県老人クラブ連合会の今後ますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年のあいなさつといたします。



# 令和七年度 主な行事

## 第五十四回 全国老人クラブ大会

令和七年十一月五日(水)・六日(木)に茨城県「水戸市民会館」を会場に、メインテーマを「おぼそう！健康寿命、担おう地域づくりを」として、第五十四回全国老人クラブ大会が開催されました。全国から千二百四十七人が参加し、本県からは松栄磐会長をはじめ六名の役員と事務局二名が参加しました。

一日目は、「老人クラブが取り組む地域高齢者のための活動」地域共生社会の実現を目指して「」をテーマとし、茨城県小美玉市、大分県臼杵市、岩手県陸前高田市の各クラブから活動発表が行われました。

二日目は、オープニングで開催地、水戸市の歴史、名所旧跡、観光スポット等についての紹介が行われた後、苗字研究家 高

信幸男氏による講演「あなたの知らない名字の世界」と続き、大会の締めくくりに式典が行われました。

式典で全国老人クラブ連合会の村木厚子会長は、「老人クラブ活動が、高齢者が互いに支え励まし合い、長寿の喜びを実感できる地域社会の形成に大きな役割を果たしており、今後の『地域共生社会』の実現に向けての活躍に期待している」と挨拶をされました。

続いて全国老人クラブ連合会会長表彰が行われ、福岡県老連からは育成功労表彰四人、若手リーダー育成功労表彰一人、優良老人クラブ表彰二団体、優良老人クラブ連合会表彰一団体、永年勤続表彰一人が表彰されました。

福岡県老連からの受賞者と採択された大会宣言は以下の通りです。

### ▼育成功労表彰

(全国百十四名)  
福岡県老人クラブ連合会  
会長 松栄 磐

志免町シニアクラブ連合会  
会長 西村 幸士

水巻町老人クラブ連合会  
会長 荒谷美知郎

香春町老人クラブ連合会  
前会長 末時 靖博

### ▼若手リーダー育成功労表彰

(全国三十四名)  
飯塚市シニアクラブ連合会  
健康部会委員 田中 利紀

### ▼優良老人クラブ表彰

(全国六十一団体)  
筑前町栗田シニアクラブ 楽生会  
会長 石川 繁美

荇田町 小波瀬区友和会  
会長 梅 秋義

### ▼優良老人クラブ連合会表彰

(全国四十七団体)  
筑後市シニアクラブ連合会  
会長 田中 秀行

### ▼永年勤続表彰

(全国十六名)  
筑豊地区老人クラブ連合会  
前事務局長 糸井 武男



# 大会宣言

わが国は、今年、すべての団塊の世代が七十五歳以上になるなかで、現役世代の減少が著しく、社会・経済にとって大きな課題となっています。

このような中、若年世代から高齢世代までの全ての人々が、それぞれの状況に応じて「支える側」にも「支えられる側」にもなれる社会が目指されています。

戦後から現在につながる社会の礎を築き、よりよい社会の構築に取り組んできた私たちは、これからも生きがいをもって、自らが培ってきた経験を、老人クラブ活動を通じて社会全体の希望につなげていきます。

私たちは地域で生活する私たち自身が幸せであるとともに、地域を豊かにする活動を通して、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし、共に支え合う地域共生社会の実現に取り組めます。

万葉集に多く詠まれる筑波山と、太古から豊かな恵みをもたらしてきた霞ヶ浦に見守られた自然と文化が息づく、ここ茨城県に集う全国の老人クラブ関係者は「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもとに、

次に掲げる取り組みを進めていくことを宣言します。

- 一、健康長寿をめざす「健康活動」の推進
- 一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
- 一、高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
- 一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
- 一、すべての人々の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

令和七年十一月六日

第五十四回全国老人クラブ大会



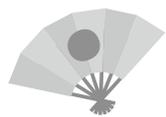
## 全老連「活動賞」伝達式

令和七年九月十九日（金）クローバープラザ（春日市）において、第九十九回県老連理事会が開催され、会議終了後に全老連「活動賞」の伝達式が行われました。

この「活動賞」は、特に他の範とするにふさわしい先進的な取り組みを行っている単位クラブ等に贈呈するものです。

今年度、本県からは梅園の管理運営を通じて、児童との世代間交流を行っている次のクラブが受賞されました。

○活動賞受賞者  
飯塚市シニアクラブ連合会  
庄内支部 新生連



ねりんピック  
岐阜2025

清流に輝け  
ひろがれ 長寿の輪

令和七年十月十八日(土)～二十一日(火)に、岐阜県において第三十七回全国健康福祉祭ぎふ大会が開催されました。

健康寿命を延ばすとともに、高齢者はもちろん、全ての人々が、生涯健康で活躍できる社会づくりが求められている今、山紫水明の自然に恵まれ、伝統と文化を育んできた「清流の国ぎふ」で開催される今大会では次の目標が掲げられました。

- 一 「スポーツ・文化の振興」につなげる大会
- 二 「健康長寿」の素晴らしさを確かめ合う大会
- 三 「地域共生社会」実現の契機となる大会

福岡県老連からは、選手・役員合わせて十五名が参加し、岐阜県内各地に分かれて競技に参加しました。

○ゲートボール

古賀市 日吉台シニアクラブチーム

○グラウンド・ゴルフ

行橋市 岩澤 茂子  
柳川市 柿野 博明  
うきは市 白井 秀一



○ペタンク

上毛町 宇野垂水チーム(B)

○シンポジウムには、松栄磐会長以下三名が参加しました。

選手の方々には日ごろの實力を發揮すべく健闘していただきました。

令和七年度九州ブロック  
老人クラブリーダー  
研修会

令和七年十一月二十七日(木)～二十八日(金)の二日間に行われ、沖縄県那覇市・パシフィックホテル沖縄において開催されました。

本研修会は、九州各県・指定都市老人クラブリーダーが一堂に会し、協議と交流を通じて資質向上を図りクラブ活動の活性化と充実に資することを目的としており、本県からは松栄会長をはじめ役員六名、事務局二名が参加しました。

一日目は、九州ブロックの会長である大分県老連の牧会長の開会あいさつ、全老連常務理事の松島氏による基調報告「今後の老人クラブ活動の振興に向けて」に引き続き、事例発表が行われました。

①「補助金の活用による仲間づくりの推進」

北九州市 門司区老連

副会長 澤井 克史

②「会員増強(仲間づくり)について」

福岡市 西区金武校区老連

会長 倉光 利信

③「会活動が充実するための二つの取り組み」

熊本県 天草市老連

事務局次長 山口 誠治

④「仲間を増やす活動計画」

長崎県 長崎市老連

組織部長 吉岡 壮一郎

二日目は、沖縄県立大学の波照間名誉教授の講演「祖先の肝を訪ねてー琉球文学の世界」が行われ、来年の開催地宮崎県老連 竹中会長のあいさつで閉幕しました。



市町村  
老人クラブ連合会  
新任会長研修会

令和七年六月五日(木)にクローバープラザ(春日市)において市町村老人クラブ連合会新任会長研修会を開催し、今年度十名の新任会長のうち、七名が参加されました。

県老連の飯田事務局長が「老人クラブの活動・現状等について」と題し、組織のあり方や公的な支援、運営方法、課題等について説明を行いました。

その後の参加者全員による意見交換会では、クラブ数・会員数の減少傾向への対応として、スポーツ大会・健康づくりセミナーの活用、ホームページの立ち上げなどを挙げる意見や、役員のなり手不足をカバーするため「事務おたすけ隊」を活用したいという意見、「多世代交流事業」を広げて老人クラブへの理解を深めたいという意見など活発な論議が交わされました。



単位老人クラブ  
新任会長研修会

令和七年六月五日(木)から七月十一日(金)の間、県内五地区(福岡・北筑後・南筑後・筑豊・京築)で単位老人クラブ新任会長研修会を開催しました。

県高齢者地域包括ケア推進課職員が「高齢者の福祉について」の講演を行い、県老連事務局長は「老人クラブの現状・課題等」について説明し、午後は、市町村老連から事例発表がありました。

○地区別参加者

- 福岡 九十五名
- 北筑後 百四十九名
- 南筑後 七十二名
- 筑豊 六十八名
- 京築 九十八名



高齢者相互  
支援リーダー研修会

令和七年六月二十六日(木)から八月二十六日(火)にわたって県内五地区で高齢者相互支援リーダー研修会を開催しました。

県高齢者地域包括ケア推進課職員による「高齢者の福祉について」の講演、県老連事務局より「高齢者相互支援活動について」の説明の後、相互支援リーダーによる事例発表がありました。

○地区別参加者

- 福岡 九十五名
- 北筑後 百二十一名
- 南筑後 九十四名
- 筑豊 八十七名
- 京築 九十一名



地区・郡・市町村  
老連事務局長  
研修会

令和七年七月三十一日(木)八月一日(金)にホテル花景色(うきは市)において地区・郡・市町村老連事務局長研修会を開催され、事務局長等四十七名が参加されました。

県老連事務局からの報告・説明と講演、意見交換会が行われました。

○講演

「豊かな老後のために知っておきたいお金の話」

○講師 一般社団法人日本ライフプラン研究所

代表理事 久垣 恵美子 氏



### 女性リーダー研修会

令和七年十月二十二日(水)から十一月二十一日(金)の間、県内五地区で女性リーダー研修会が開催されました。

今年度は県会員増強運動会長表彰式を研修会に先立って行い、各地域で優れた実績を上げた市町村老連、単位クラブに賞状、記念品が授与されました(受賞団体名簿は二十四、二十五ページに掲載)。

研修会は、各地区の女性委員・女性部長の主導の下、午前は各地区のニーズに沿った講演、午後は女性リーダーによる事例発表が行われました。

#### ○地区別参加者

福岡 百二名  
北筑後 百十八名  
南筑後 百二十二名  
筑豊 八十名  
京築 九十八名



### 市町村老人クラブ連合会会長研修会



令和七年十二月十一日(木)・十二日(金)にホテルセキア(熊本県南関町)において市町村老人クラブ連合会会長研修会が開催され、三十八名が参加されました。講演と会員増強運動の取り組み等について事例発表を四団体が行い、その後県老連事務局からの報告等を行いました。

#### ○講演

「老人クラブとまちづくり」

#### ○講師

福岡大学社会連携センター

助教 山田 雄三 氏

### 体力測定講習会

令和七年九月十一日(木)遠賀コミュニケーションセンター(遠賀町)において県老連主催の体力測定講習会が開催され、各市町村老連から八十八名が参加しました。

#### ○講義

「高齢期の運動による健康づくり・介護予防」

「高齢者向け体力測定と安全に実施し、普及するため」

「いきいきクラブ体操で仲間と楽しく健康づくり」

#### ○講師

順天堂大学名誉教授

武井 正子 氏



### 高野山供養塔参拝

県老連では昭和六十年九月、高野山(和歌山県高野町)に「福岡県老人クラブ連合会供養塔」を建立し、三年ごとに会員の故者を過去帳に載せて合祀し、ご遺徳をしのび安らかなご冥福をお祈りしてまいりました。

今年度は、松栄県老連会長ほか二名が令和四年七月～七年六月までの三か年分、二百六十五名の物故者過去帳をお預かりし、十月七日(火)、県老連供養塔に過去帳を奉納し、高野山別格本山大圓院のご住職にご供養いただきました。



### 三大スポーツ大会

「のぼさう！健康寿命、担おう！地域づくりを」は老人クラブのメインテーマです。県老人クラブ連合会は、健康づくり・介護予防活動を進めるため、また生きがいを高め、会員相互の親睦を図るために「三大スポーツ大会」を主催しています。

今年度は九月二十五日(木)のグラウンド・ゴルフ大会を皮切りに、十月二日(木)にペタンク大会、十月九日(木)にゲートボール大会を開催地の老人クラブの協力のもと、開催しました。

地域の予選を勝ち抜き選出された各市町村老連の代表チーム・個人が、日頃の活動で鍛えた技を存分に発揮して競い合いました。

この大会の優勝チーム(成績上位チーム)は来年度埼玉県で開催される「ねんりんピック彩の国さいたま二〇二六」に出場予定です。



#### ◆グラウンド・ゴルフ大会

令和七年九月二十五日(木)

岡垣町「町民総合グラウンド」

・参加選手 二百二十九名

・優勝 末吉 永和

(みやま市)

・準優勝 古山 和弥

(福津市)

・第三位 中尾 剛

(飯塚市)

・最高齢選手(男)

吉柳 友一 九十四歳

(福津市)

・最高齢選手(女)

水田 睦代 九十二歳

(筑後市)



#### ◆ペタンク大会

令和七年十月二日(木)

小郡市

「たなばた地域運動広場」

・参加 四十チーム

・優勝 小郡三国が丘2

(小郡市)

・準優勝 前牟田東B

(大木町)

・第三位 額田C

(飯塚市)

・第三位 宇野垂水B

(上毛町)

・最高齢選手(男)

中山 貢 九十二歳

(大野城市)

・最高齢選手(女)

大野 ミズホ 九十一歳

(春日市)



#### ◆ゲートボール大会

令和七年十月九日(木)

「春日市総合スポーツセンターグラウンド」

・参加 二十四チーム

・優勝 薦野シニアクラブ

(古賀市)

・準優勝 筑後市A

(筑後市)

・第三位 古賀北シニアクラブ

(古賀市)

・最高齢選手(男)

栗原 重治 九十四歳

(大野城市)

・最高齢選手(女)

高巢 タカ子 九十二歳

(筑後市)



福岡県高齢者  
福祉功労者知事表彰式  
・会長表彰

令和七年十月二十八日(火)、クローバーホール(春日市)にて「福岡県高齢者福祉功労者知事表彰・県老連会長表彰」が執り行われました。

この賞は、高齢者の福祉を増進するため、老人クラブの活動に尽力された方や高齢者介護に貢献された方など的高齢者福祉功労者に対し、知事表彰及び感謝状の贈呈を行い、多年にわたり献身的活動を続け、地域社会に寄与した功績を顕彰するものです。

県老連関係では、四十七名及び二団体が知事表彰、三名が知事感謝状を贈られました。

引き続き、県老連から老人クラブ活動に功績のあった個人百十五名に対して、県老連会長表彰が贈られます(知事表彰受賞者、会長表彰受賞者の名簿は二十一～二十三ページに掲載)



「健康を進める運動」  
推進研修会

令和七年十一月二十五日(火)、クローバーホール(春日市)において、百五十八名が参加して開催されました。

健康寿命を延ばし、自立した生活、生きがいのある生活の実現を目指すこと、仲間や地域の高齢者と共に継続的に健康活動に取り組むことを目標としています。

【研修概要】

○「健康をすすめる運動について」

県老連事務局長 飯田みゆき

○「高齢者の交通事故防止」  
県警察本部交通部交通企画課  
警部補 中牟田 浩臣 氏

○「スロージョギング健康法」  
一般社団法人日本スロー  
ジョギング協会

理事 佐藤 紀子 氏  
牛川 勝博 氏



「広報紙の作り方」  
研修会

令和七年八月二十五日(月)クローバープラザ(春日市)において、各单位クラブから四十名が参加し、講演と事例発表からなる研修会が開催されました。

○講演

「読まれる広報紙・会報の作り方(取材と編集10のポイント)」

○講師

福岡マスコミOBネット

永尾 和夫 氏

○事例発表

「シニアクラブでの通信紙発行」  
大刀洗町シニアクラブ連合会  
南本郷百年人クラブ女性部長

高倉 眞知子 氏



# 地区からの発信

## 福岡地区

### 令和七年敬老祝賀会を終えて 《歌謡ショー・日本舞踊に感動》

福岡市シニアクラブ連合会  
若木台シニアクラブ  
会長 末武 昭憲



令和七年九月十六日、地域の「くるみ公民館」において、会員五十名が参加し本年最大のイベント「敬老祝賀会」を開催しました。

この祝賀会は、十数年来の恒例行事として定着しているイベントですが、今年は例年と趣向を変えて、

◆第1部…定型の祝賀会  
来賓あいさつなど

◆第2部…プロ級の歌謡ショー  
若柳流名取による日本舞踊

◆第3部…会員の懇親  
会員の唄等の余興披露

約四時間にわたり大いに盛り上がり満足度満点の祝賀会であった。以下進行内容を紹介します。

#### 第1部

会長の開会宣言に続いて、来賓 宮内秀樹衆議院議員夫人の祝辞、福岡市長 福井崇郎氏の祝電披露

#### 第2部

その1…歌謡グループ「B・ジンジヤー」による歌謡ショー  
マンドリン、ギター、ボーカル3人の美人グループの息の合った歌唱に全員が聞き惚れた。「夏の思い出」「われは海の子」「愛燦燦」「川の流れるように」最後は出席者も含め

「高原列車は行く」を合唱し大いに盛り上がりました。  
その2…若柳流名取 若柳繁彰（本名：谷口彰 福岡市在住）氏による舞踊

#### ○北島三郎「宴」

人生の長い旅路や苦難を乗り越えて、さらに新しい人生への希望を願う。

#### ○細川たかし「月冴えて」

古城にかかった月を眺め、兵者（ツワモノ）どもの夢のあとを忍ぶ。

#### ○細川たかし「青海波」



未来永劫にわたり幸福や平穏な暮らしへの願いを込める。

各曲を解説された後の踊りで、その場の全員が国立劇場で観賞していると錯覚するほどの感銘を受けました。

#### 第3部

来賓、出演者も含めた懇親会、大いに飲み、大いに歌い懇親を深めるとともに明日に向かって「健康長寿」を誓い合った祝賀会でした。最後に万歳

ここで若木台シニアクラブ会員、石井章博氏の持論、すなわち「明治十二年四月施行の「太政官布告」「萬歳三唱令」の講釈

(1) 基本姿勢…直立不動、両手指を延ばし、体側にしっかりとつける。

(2) 萬歳の発声と同時に右足を半歩踏み出し、同時に両手を高々と上げ、この時両指は伸ばし、手の平は内側に向け、そして素早く元の直立不動の姿勢に戻る。

(3) この動作を三度繰り返して、節度と気迫を込めて行うことが肝要。

参加者全員が（お招きした演者を含め）この講釈通り万歳三唱を行い、「来年も会おう」と誓い合って元気はつらつ散会しました。

## 北筑後地区

### 会員増強と広報活動

小郡市老人クラブ連合会  
会長 佐々木 悦夫



「会員加入促進がなかなか進まない」単位クラブ会長とお話すると必ずこの話題がでます。そして後継者がいないのも悩みの種だといえます。

何か解決のきっかけがないかと色々な方とお話しをし、また講演会にも参加しました。

その中で小郡市が主催する講座「小郡魅力化計画」に参加し、年齢性別を問わない参加者同士のワークショップ形式で意見交換を行いました。

それぞれのグループに分かれて、自己紹介の時「佐々木です。所属団体は老人クラブです。」と発表しました。グループ内から「老人クラブはゲートボールとか行っているクラブですか」との質問がありました。言葉に納得していました。

老人クラブを知っていたため「地域の方の健康や福祉、見守り活動など行い、会員相互の交流、勉強会、スポーツ活動、ボランティア活動など行っています。上部団体は公益社団法人福岡県老人クラブ連合会で、公益法人の認可は福岡県で受けており、その目的は『高齢者の福祉の増進』です」と説明したところ、グループのみんなは驚いていました。

先日、主婦主体で立ち上げたばかりのボランティアグルー

プで老人クラブの入会説明会を行いました。説明内容は大体ワークショップで述べたようなことを話しました。反応は同じようでした。

これは広報活動の強化が必要とおもいました。ホームページやインスタグラムは老人クラブで検索、見てもらうには相当の工夫が求められます。フェイスツーフェイスには限界があります。

最後には是非皆さんに知っていただきたいのが「高齢者の福祉の増進目的」で老人クラブに入りたいた方がいれば六十歳以上でなくても年齢制限はないとなっております。単位クラブの会長さんは県老連に確認して規約の改正をお願いしたいと思っています。

## 南筑後地区

### 健康長寿を目指して チャレンジ精神を

柳川市老人クラブ連合会  
三橋支部  
高畑すこやかクラブ  
会長 大橋 一美



吹く風の如く去り行く時の流れ、定年退職して早くも卒寿を迎え、どうにかまだ脚腰も丈夫で、まわりの人々に励まされながら、これまで元気で生かされていることに感謝の毎日を過ごしているところです。

老後は何事にも思ったことは発想即行動でチャレンジ精神を発揮することが大切だと思います。しかし人生は運不運があります。運の良い人は



筑豊地区

「新町老人クラブ・親和会」

六十年の記録づくり

田川市老人クラブ連合会  
新町老人クラブ親和会  
会長 井ノ上 勝義



不安が少なく、おおらかでポジティブな人、チャレンジ精神のある人、社交的な人、笑顔で思いやりのある人であると思います。

現在、地区老人会長 町老連役員をしながら交流、親睦と絆を深めています。一日中何をしようかと考える暇もありません。行事予定のない時は早朝より生まれ育った古里へ出かけ、土と野菜とのふれあいを楽しみながら、脚や腰を鍛え、フレイルにならないように頑張っています。

雨天の時はギターを弾いたり、踊りの練習、そして可愛い人形を使って腹話術にもチャレンジをしています。

人生は儂いものですが、人は自然や周りの人に生かされ、励まされながら生かされ生きています。心から幸せを感じる時は、物やお金ではなく、周りの人とのつながりの中で自分の存在が認められた時です。

一度限りの人生を毎日笑顔で楽しんで生活していきましよう。

全国老人クラブ連合会の発

足や老人福祉法の施行により、老人会活動に対して資金援助や活動の支援が全国的に展開され、この方針を受け田川市老人クラブ連合会が発足し、新町老人クラブ・親和会は一九六五年四月にスタートし、二〇二五年に六十周年を迎えました。

新町老人会の活動結果を見ると、旅行や踊りやカラオケなど老人たち自身の活発な活動と、神幸祭、餅つき大会、

資源回収作業、子供会行事等々の公民館行事に関わって参りました。いずれも「公民館行事」として記録が残されています。それらの事実を見て気付きましたことは、「親和会」としていったい何をどのようにしたのが判らなかつたのです。老人達の具体的な活動を記録した内容ではありませんでした。

「親和会活動」という視点で、もう少し具体的な内容を整理し後世に遺したいという思いが起こりまして、五年前から六十周年に向けた行動を開始しました。

二〇二〇年（令和二年）秋に八十歳以上の会員十七人に集まっていただき、三回にわけて「老人会活動の実態」について座談会を開催し、いしえを振り返っていただきました。

そこには、昭和四十年代にゲートボールを導入し、小学校のグラウンドを借りて早朝から練習に励み、県大会に出場するまでの進歩を遂げたこと、また、夏休みには子供会主催

の英彦山キャンプに参加し、一緒にテント生活をしたお話もありました。昔を懐かしむかのごとお話をして下さった老人達の顔は、まるで若者のように生き生きとした表情を見せてくれました。

さらに秋に新町区が実施する敬老会では、子供達の演技や婦人会の踊りで賑やかで楽しい時間を過ごしていた事がわかりました。

親和会六十周年を機に、親和会活動の具体的な内容を整理してみようと考えました。今、これをやらなければ当時の生きた証言が聞き出せなくなると考え「親和会六十周年」と題し、六十ページで表現することにしました。



## 京築地区

## 社会貢献、

## 健康づくり活動について



吉富町寿会連合会  
会長 高尾 賢二

吉富町は、九州で一番小さな町で、面積は五・七二km<sup>2</sup>、人口は約六千五百人です。

六地区百七十名で寿会を運営しています。主要な事業は年二回のグラウンドゴルフ大会、追弔法要、愛の一声運動、小中学校生徒の登下校のあいさつ見守り、小学校訪問授業、会員誕生日者へのお祝いの配布です。

グラウンドゴルフについては、毎週火・水・木・金の四日間、町の野球グラウンドで練習をしています。年二回の大会の

内、秋の大会は寿会に加入していない六十歳以上の方にも参加を呼び掛け、新規加入を促しています。

小学校の訪問事業は、一年生を対象に体育館で、羽子板・独楽回し・けん玉・あやとり・お手玉・おはじき・めんこなどの昔遊びふれあい授業を実施しています。児童にその場で感想を聞き、後日感想文も書いてもらっています。最近では介護施設から通所で元気な人を対象に昔遊びの依頼も来ています。

ある地区では、全く女性が加入しておらず、会長が代わったのを機に、会長夫婦が会員を募り十六人が入会の運びとなりました。元教員のノウハウを生かし、男女共同参画で頑張ったようです。小さな地区で十一人の会員が現在ではさらに増え二十七人になったわけです。

では、私の直江地区寿会の活動を言いますと、昨年からは会員以外の人を含めて、レク愛好会を発足しました。毎月

二回、ボッチャ・モルック・ターゲットボールを年間を通じて行い、最初の五月と最後の三月に手作りの食事会をしています。

女性の会「直江ひまわりの会」も年間を通じ活動していますが、その活動に寿会会員も参加しています。例えば、盆踊り・正月飾り・新一年生を迎える会、六年生を送る会・介護予防サロンなどです。

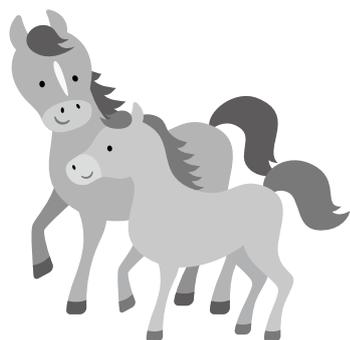
また、直江親交会と言うボランティア団体があります。餅つき大会・どんど焼き・公園の草刈り・お宮や集会所の清掃、その親交会のメンバーに元気な寿会会員が主体となり頑張っています。

餅つき大会では、九十キロのもち米を用意し、杵臼で実施します。福祉施設や八十歳以上の高齢者宅への赤飯配り、参加者全員に酔もちなどの振舞い、残りはどんど焼き用に冷凍保存しておきます。どんど焼きでは、百本以上の竹竿に餅をさし地区住民を迎えます。終わった後は、参加者全

員におにぎりや豚汁、煮しめものを振舞っています。

このような活動は、子どもや若い人を含め年代を問わず地域コミュニティの元となっていることと思います。

最後に近い将来ボッチャ・モルック等の大会が町寿会で出来るようになればと考えています。



# 会員増強運動 七年度受賞クラブの紹介

## 有田中央シニアクラブ 活動再開

糸島市シニアクラブ連合会  
雷山校区シニアクラブ連合会  
有田中央シニアクラブ  
会長 柴田 勤



令和三年、行政区区長をさせて頂いている中、コロナ禍でシニアクラブ自粛中に、シニアクラブ会長が体調不良により退任されました。

コロナ禍自粛中でもあり、後任会長選出活動も出来ず、シニアクラブは休会する事とな

りました。休会期間は令和三年五月～令和六年三月までで、会員数は令和三年五月末三十三名から令和六年三月末十名となりました。

シニアクラブの休会中、会員の方々からシニアクラブ活動再開に向けての声が多く寄せられ、また雷山校区シニアクラブ連合会の会長からも再三に渡り、シニアクラブ会長就任の打診とシニアクラブ早急の立上げの働きかけがありました。

しかし令和六年三月末まで、行政区区長の任期があるため、シニアクラブ会長職を受ける状況になく、令和五年五月に翌六年度からのシニアクラブ会長就任を承諾しました。

折しも、令和五年五月八日にコロナ感染症法上の分類が第二類から第五類に変更された

事で実質的な収束を迎えました。コロナが収束された事で、令和五年九月から会長・副会長・婦人部長・会計四役会でシニアクラブ規約の見直しと、シニアクラブ活動方針見直し変更を行いました。

会員入会の資格を七十歳以上から六十五歳以上に、年会費千二百円から千円にし、八十五歳以上は免除とし規約変更を行いました。

活動基本方針は健康、友愛、奉仕の三大スローガンを持って生きがいのある楽しい人生を送り、経験を生かし、地域において「子どもを守る活動」や「文化活動」等、世代間の活動に協力し、地域を豊かにする活動に積極的に参加する事を基本に進めています。

### 「教育・文化の向上」

- イ. 高齢者教室の参加（人権映画祭、健康講話、安全講話）
- ロ. 人権同和教育学習への参加
- ハ. 校区事業への積極参加

参加

- （グラウンドゴルフ、文化まつり）
- ニ. 小学生とふれあい事業参加（人権の花植え、昔遊び）

### 「健康、体育」

- イ. 身に合った各種運動
- ロ. グラウンドゴルフ、ペタンク、卓球バレー、五目お手玉

### 「友愛、奉仕」

- イ. 高齢者相互の支援活動（愛の一声運動、ふれあい活動）
- ロ. 校区福祉事業の推進につとめる
- ハ. ふれあい募金の協力（一円玉募金）
- ニ. 環境美化運動に積極的に参加する

会員増員行動は、令和五年十一月より行政区シニアクラブ会員資格対象者名簿を作成し四役にて各訪問先を分担し、シニアクラブ規約活動方針を説明して、その場で会員入会して頂ける方には入会届を書

いて頂き、考えて返事される方には後日訪問時に入会可否の確認を行いました。

入会されない方の事情を聴きますと集団行事する事、コミュニケーションを取るのが苦手と言う数名の方がおられました。

訪問し入会されない方には行政区長をさせて頂いている時に、人間関係を培って来た方々が何人か居られたので、再度訪問し何人かの方々に入会を頂きました。

令和六年七月にはシニアクラブ会員数は三十七名となり二十七名の増員となりました。



### クラブ・サンリヤン 設立の経緯

志免町シニアクラブ連合会  
クラブ・サンリヤン  
会長 龍 延博



令和六年夏、民生委員研修会にて、シニアクラブ連合会会長・西村幸士（にしむらこうじ）氏より「サンリヤン町内会でもシニアクラブを設立してはどうか」とのお誘いを受けました。

当町内会は、ほぼ一〜五棟からなるマンション（居住者数約千三百五十人）で構成されており、特に一・二番館は築二十年を超え、住民の高齢化が進んでいる状況にあります。私自身もシニアクラブの必要性を感じ始めていたころでした。

西村会長は、同時期に町内会長・橋本司（はしもとつかさ）氏にも働きかけて下さっており、後日サンリヤン公民館にて、橋本町内会長と私が同席のもと、西村会長から詳しいお話を伺い、設立に向けた具体的な取り組みを開始しました。

ちょうど九月には町内会主催の敬老会をひかえていたため、その席上で橋本町内会長より、七十歳以上の参加者約六十名に「シニアクラブの設置の希望」について意向確認を行ったところ、八割以上の方が賛同されました。

これを受け、十月五日に町内会組織の中に、橋本会長以下役員など八名による「シニアクラブ設立準備委員会」を立ち上げ、会員獲得の方策や設立手順について六回にわたり打合せを重ねました。

途中の意向調査では、敬老会時の反応とは異なり、やや反応が鈍かったものの、西村会長や第一桜会のご支援を頂きながら説明会を開催し、チラシ配布やポスター掲示など

の広報活動を通じて、仮入会希望者三十名の確認に至りました。

設立条件である三十名の参加が整ったことから、令和七年一月二十六日に「プレシニアクラブ総会」を開催し、クラブの名称・役員・規約・事業計画案などを決定。本格的な稼働体制を整えることができました。



クラブ名称は、複数の候補名のなかから投票により「クラブ・サンリヤン」に決定。設立日は令和七年四月一日と

し、「設立総会及び祝賀会」は、町内会定期総会において補助金の拠出が確認された後の四月二十九日に開催し、正式に活動を開始しました。

設立時の会員数は三十二名でしたが、若干の増減を経て、六月末には、四十一名まで増加。今後は定例会の充実を図るとともに、同好会やイベントなど、会員の皆様が楽しめる活動を展開してまいります。

### 川瀬北シニアクラブの活動と新規会員の勧誘について

広川町シニアクラブ連合会

川瀬北シニアクラブ

会長 山崎美代子



はじめに、広川町シニアクラブ連合会と川瀬北シニアク

ラブの概要についてです。広川町シニアクラブ連合会は、単位クラブ数が二十七クラブ、会員数が千六百六十六名で、内訳は男性六百九十四名、女性九百七十二名です。川瀬北シニアクラブは、会員数が二十四名で、内訳は男性九名、女性十五名です。

ここからは、川瀬北シニアクラブの具体的な活動を紹介します。まずは健康教室についてです。毎月一回、公民館で健康教室を実施しています。内容としては、広川町役場福祉課の方による問診と血圧測定、主に健康をテーマにした講演会、レクリエーション等です。終了後には、お茶飲み会を実施し、意見交換等を行っています。

次に、グラウンド・ゴルフについてです。川瀬北区内の広場で、毎週木曜日と日曜日の週二回実施しています。グラウンド・ゴルフの参加者は八名ほどですが、お喋りや応援のために参加する会員も数名いて、ただグラウンド・ゴ

ルフをすることだけが目的ではなく、会員同士の交流の場としての目的も果たしています。

参加者からは、「みんなとお喋りが楽しく、笑顔を見られると、とっても嬉しくなる」、「大会に出て、他の地区や市町村の人と交流することが楽しいので、そのために上達したいと思っています」、「私はゴルフ経験者で、最初は興味本位での参加でしたが、今では熱中しています」、「妻から誘われたのがきっかけで、いつも夫婦で参加しています」というような感想を耳にします。

その他の取り組みとしては、年に数回のカラオケ会を実施しています。歌を歌うのが好きな会員が多くいるため、途切れることなく曲が入り、とても盛り上がりです。誕生日カードは新しく始めた取り組みで、誕生日を迎えた会員に、メッセージ付きのカードをプレゼントしています。ちょっとしたことでも、喜んでもらえたらという気持ち

ちで始めた取り組みです。

シニアクラブ会長になってからというもの、連合会の会議や研修会に出席する度に、「新規会員が増えませんか」、「会員減少を抑える方法はありませんか」という声を耳にしました。私たちのクラブも同じ課題を抱えていたため、新規会員の勧誘に力を入れて取り組みました。勧誘の方法としては、まず事務的なお誘いになりすぎないように、シニアクラブの楽しさを伝えることを心がけました。

また、「私はまだ働いているから」、「まだ老人ではないから」という理由で入会を断られる方には、「五年後を考えてみてください。その時に安心できるような仲間が近くにいますか。未来の自分のために、シニアクラブに入って、一緒に仲間づくりをしましょう。」という誘い文句で、勧誘に取り組みました。

その結果、今年度は新規会員が八人も加入しました。今後の目標は、さらなる会員増

加を目指し、活動を継続していくことです。

## コロナ禍のクラブ活動 自粛から活動再開への 取り組み

田川市老人クラブ連合会  
桜町老人クラブ 桜寿会  
会長 有馬 正浩



二〇二〇年の新型コロナ感染症は私たちの暮らす地域に大きな影響を与えました。ほとんどの活動が「自粛又は中止」となり、公民館で開催していた体操教室やカラオケ教室からの笑い声が消えました。私たちの暮らす田川市は、全国平均を上回る高齢化率と高齢者世帯率が上昇し、今後高齢者人口の増加が見込まれます。

これに反して、市内の老人クラブ数の減少は続き、一時は百四十を超えたクラブ数も、現在は三十一クラブにまで減少している状況です。

このような中で、私たち「桜町老人クラブ 桜寿会」（以下、桜寿会）は、地域の高齢者が、お互いに豊かな老後を過ごすために、公民館を活用した健康体操やカラオケ教室などの趣味の教室をはじめ、定期的に講師を招いた学習会、屋外でのゲートボール等を開催することで、高齢者の相互交流と健康増進の活動を続けていました。

しかし、新型コロナ感染症による約三年にも渡る活動自粛が、これまでに築いてきた地域のつながりを消してしまいそうな危機的な状況でした。危機的状況を乗り越えるために、役員等が知恵を出し合うにあたり、行事を再開するためには、高齢者の多くが「集まる」ことへの抵抗感があることや、再開するには運営側に多くの「エネルギー」

が必要であること、また、何よりも課題となったのは、約三年間に渡って行事を自粛したことにより、事前準備や行事のルールを一から再確認・再構築する必要があることでした。そこで、一旦、地域の七十五歳以上のすべての高齢者に桜寿会へ加入していただきました。

地域の高齢者の全員が桜寿会にご加入いただき、再びみんなで顔を合わせて集まることにより、皆様の豊富な知識や経験から、様々な意見や希望を取り入れて、新たな講座や教室の開催等、新たな取り組みが生まれています。

これからさらに進展する少子高齢社会の中で、地域の基盤となる、仲間づくりや様々な地域貢献活動に取り組んでいる「老人クラブ」の活動が衰退することは、地域社会の人間関係の希薄化が進行している今、地域社会の減退につながるように思えます。

こうした中、活力ある地域社会を次世代へと継承してい

くことは、私たち「老人クラブ」に課せられている課題であると考えます。

田川市老人クラブ連合会では、平成二十七年から会員の加入促進と老人クラブの活性化に資するために、「会員増強運動」の取り組みを始め、会員の減少はありませんでした。

中でも、桜寿会では会員の六割を占める「女性会員」と高齢者に近い世代である「若手会員」の加入促進に力を入れています。この中で、「女性会員」や「若手会員」の皆様が持てる力を発揮できる活動の場の拡充や加入促進のための課題解決に向けて、役員等で定期的な協議を重ねているところです。

コロナ禍で失われた貴重な時間は取り戻すことはできませんが、すべての老人クラブにおいて会員増強及び老人クラブの活性化に向けて、具体的な取り組みがなされることを願っています。

# 上香春老人会から 上香春老人クラブへの 復活劇紹介

香春町老人クラブ連合会

ぎんなんの会

会長 村上 寿利



香春町は、古代においては豊前国府と大宰府を結ぶ官道が走り、また近世には小倉・秋月街道の宿場町として栄えてきました。幕末期には、第二次長州征伐に敗れた小倉藩が城を自焼し撤退、そして香春町本町にあった小倉藩御茶屋臨時藩庁を置き、三年間という短い期間でしたが「香春藩」を宣言しました。

本クラブは、まさに御茶屋跡が残る上香春地区の本町、魚町、山下町そして殿町（合

計百七十五世帯）の居住者を主な会員対象とするクラブです。ちなみに「ぎんなんの会」の由来は、地域の氏神社「須佐神社」の境内にそびえ立つ大銀杏から頂いています。



実は私たちの地区にも以前、老人会がありました。しかしながら、会員の高齢化や組織力衰退により自然消滅し、いつの間にか活動が停止していました。そんな折、私の恩師でもある現香春町老

人クラブ連合会 井上脩会長より、会の復活の命が下され、動かざるを得なくなりました。またちょうど私自身が行政区の区長を拝命することになり復活・会員募集のため事務手続きが積極的に行える好機を得たことも幸いしました。

しかし、一度なくなった組織を復活させることは容易ではありません。まずは「会が消滅した」という負のイメージを払拭することからのスタートです。家内を含め四名からのスタートでした。

そんな折、筑豊地区新任会長研修において、ある講師の方が会員増強策として「旅行」をキーワードにすると良いとの話を聞き、早速、香春町老人クラブ連合会主催のバスハイクをネタに勧誘を進めたところ、これが的中。複数人のグループ単位での入会実績を得ることが出来ました。

また町の包括支援センターから公民館活動としての健康づくり教室、介護・認知予防

教室等の開設の相談を受け、これにも便乗して一緒に取り組んだところ、教室を引っ張ってくるリーダーさんも現れ、ここでも獲得促進を行うことが出来ました。

今では、行政や老人クラブ連合会主催の囲碁ボール大会やグラウンドゴルフ大会などのスポーツイベントを始め、地域福祉センター「香泉荘」や役場周辺の草刈り清掃などの社会福祉活動にも会員の皆さんは積極的に参加すると同時に、他クラブとの情報交換も深めています。今後も老人クラブ連合会の掲げる活動目標、「健康活動」、「支え合い活動」、「生きがい活動」、「地域貢献活動」、「社会保障制度の確立」に努めるとともに会員獲得に努めていきたいと考えています。



## 会員増強運動としての 取り組み

吉富町寿会連合会

土屋地区寿会

会長 梅林 章彦



この度、令和七年度会員増強運動として、土屋地区寿会は「会員増強運動県老連会長表彰」を受賞する荣誉に浴しました。これもひとえに老人クラブ連合会をはじめとする会員の皆様方のご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。

土屋地区寿会は吉富町寿会連合会（会員百七十名）に属し、当連合会主催の行事や「土屋自治会」、「活性化愛好会」、「ユーモア会」等の行事に参加。寿会の役員も自治会の役員構成員として祭りの準備、どんな焼きや餅つきの行事にも参

加し、忘年会や新年会等の情報交換会でも楽しいひと時を過ごしています。

前会長から会長職を引き継ぎ一年が経過。当時は男性会員のみの一十一名。以前は「土屋老人会」として男女とももの会員だったが、婦人部の組織がなくなり、新しく「ユーモア会」が設立され、少人数ながら男性も参加。新規会員募集を呼びかけると女性の参加で会員増強となり、現在二十七名（男性十五名、女性十二名）の会員で活動しています。

七十五歳以上が後期高齢者と言われていますが、会員募集の際は組織名をお年寄り扱いされるよりも「土屋老人会」から加入しやすい名称「土屋地区寿会」へと変更。ユーモア会が結成されタイミングが良かったと思っています。

今回会長を引き受け、コロナ禍でできなかった研修会や親睦会を検討し、バス旅行として芝居見物と昼食会を実施。参加者からも大いに喜んでいただき、都合で参加できなかった会員からも次回は

是非参加したいとの希望があっています。

寿会では、「活性化愛好会」と合同で月一回お宮境内の清掃活動を行っています。神社総代の役員三名だけでは大変と思い清掃活動を取り入れ、この活動が「よしとみ介護予防ポイント事業活動団体」として登録され、参加者にはポイントスタンプを押印。ポイントは町内行事や福祉事業参加にも適用され、一定のポイント数によりクオカードと交換されています。

吉富町寿会連合会主催のグラウンドゴルフ大会が年二回行われ、十月には会員十三名が各自愛用のステッキで大会に参加。女性会員は初めての参加のため大会前に練習し、ホールインワンになると各自がお祝金を寄贈。本大会終了後は、昼食会で参加者の慰労会により情報交換会を実施。次回の参加を楽しみにしています。

各地区で誕生日を迎えた会員に対しては連合会からお祝いの品が贈られ、会員からも感謝されています。以前は毎

月地区の会員がお世話をしていましたが、コロナ禍により地区の会長が記念品をお届けするようになっていきます。会員から活動に参加できなくて気の毒だといわれますが、元気な姿を拝見するといつまでも長生きして、会員との交流を深めていただきたいと願うばかりです。

高齢期になると心身の活力が低下した状態となり、徐々に介護が必要となっていきます。その予防としては社会参加で、人とのつながりをもつことです。寿会の今後の活動としては、各地区の活動を参考に文化行事や運動行事を取り入れ、活性化に務めさせていただきます。と思っています。

これからの人生は、「きょういくときょうよう」を身につけて下さい。

○きょういく…今日行くと

ころ

○きょうよう…今日用事を

つくる

家にとじこまることなく出かけて行くと、お友達との交流が楽しめます。

# 高齢者福祉功労者表彰(敬称略)

老人クラブ活動の功績を  
顕彰し、次の会員及び団  
体が表彰を受けられました。  
心からお祝い申し上げます。

## 知事表彰

(一)市郡町村老人クラブ連合会  
長又は単位老人クラブ会長  
の経験を有し、老人の心身  
の健康の保持に資する活動  
や、老人の福祉を増進する  
事業において、その功績が  
顕著であり他の模範と認め  
られる者で、その在職期間  
が令和七年四月一日現在で  
五年以上であり、かつ、現  
在も老人クラブの会員であ  
る者

四十七名

梶原 康資	久留米市	秋山 廣臣	久留米市
行武 正俊	久留米市	神代 孝男	久留米市
渡辺 徹也	久留米市	最所 但輝	久留米市
百合野 道生	久留米市	原 智子	久留米市
田中 二郎	久留米市	徳永 寛	久留米市
山田 衛	久留米市	関 俊二	久留米市
笠 徳男	久留米市	高木 英一	直方市
増崎 淳一	久留米市	日野 正文	飯塚市
松隈 要乃介	久留米市	富安 和治	柳川市
尾形 忠昭	久留米市	西田 長子	柳川市
高尾 正隆	久留米市	成清 和加野	柳川市
吉村 勝彌	久留米市	野中 一男	八女市
吉田 正憲	久留米市	辻 徳斗代	筑後市
中村 昌明	久留米市	小坪 幸一	行橋市
大鶴 秀雄	久留米市	武内 初美	行橋市
川内野 大志	久留米市	後藤 清忠	春日市
永平 義人	久留米市	永戸 覺	宗像市
		鈴木 正行	太宰府市
		峰松 和彦	古賀市
		井上 達之助	福津市
		樋口 喜代美	福津市



赤尾 清	朝倉市
伊賀 健信	志免町
野村 都江	志免町
酒井 義彦	遠賀町
直井 清明	遠賀町
山本 靖	遠賀町
西山 堅	鞍手町
藤木 繁美	広川町
緒方 ソト江	広川町

(2) 人の心身の健康に資するた

めの教養講座、レクリエー  
ションその他広く老人が自  
主的かつ積極的に参加する  
ことができる事業を積極的  
に実施する等、老人クラブ  
の運営が特に優秀であり、  
他の模範と認められる者。

二団体

上の原老人クラブ悠悠会 八女市  
長寿クラブ都府楼 太宰府市

◆ 知事感謝状

(1) 高齢者相互支援活動員(シ  
ルバーホームヘルパー)で、  
地域のひとり暮らし高齢者  
等の介助援助を行い、その  
功績が顕著であり他の模範  
と認められる者で、その従  
事期間が令和七年四月一日  
現在で五年以上であり、か

つ、現在も活動している者

三名

川原 康夫 太宰府市  
森岡 喜代子 太宰府市  
青木 保子 太宰府市



◆ 県老連会長表彰

【福岡地区】 十八名

羽多野 隆司 大野城市  
古賀 武生 大野城市  
森 顕 大野城市  
吉武 栄一 宗像市

【北筑後地区】 三十八名

谷 秀康	宗像市	白水 英治	久留米市
平野 祥一	宗像市	佐々木 睦雄	久留米市
吉田 弘	糸島市	今村 準寿	久留米市
田中 利夫	糸島市	松本 豊太郎	久留米市
猿渡 建彦	福津市	森光 直樹	久留米市
前原 康弘	福津市	穴見 勇喜男	久留米市
萬 幹夫	那珂川市	中野 和仁	久留米市
時里 妙子	那珂川市	安永 秀博	久留米市
西依 和彦	宇美町	井戸 美子	久留米市
井川 國宏	宇美町	佐藤 桂子	久留米市
清家 博幸	宇美町	長谷 信博	久留米市
世利 信行	宇美町	高三瀨 高德	久留米市
上田 忠美	宇美町	石井 克己	久留米市
因 輝紀	粕屋町	過能 正弘	久留米市
森田 智枝子	久留米市	稲田 善嗣	久留米市
梅野 忠	久留米市	馬場 義治	久留米市
権藤 敏雄	久留米市	伊藤 廣記	八女市
執行 由大	久留米市	橋爪 史勝	八女市
松田 幸子	久留米市	水本 愛子	八女市
		江上 孝晴	八女市
		中島 文男	八女市

高木 良之 八女市

梶原 健一

飯塚市

高鍋 幸雄

鞍手町

日塚 忠

みやこ町

原島 辰幸 八女市

岡村 政勝

飯塚市

田村 直子

鞍手町

重本 憲一

みやこ町

松崎 澄江 八女市

高崎 正年

飯塚市

日向 偕就

添田町

生永 節男

みやこ町

緒方 栄次 筑後市

原田 良徳

飯塚市

伊川 加代

添田町

白川 光男

みやこ町

田熊 雄身 筑後市

田中 利紀

飯塚市

有光 俊則

糸田町

向井 忍

みやこ町

足立 武敏 うきは市

大塚 民也

飯塚市

森 和子

糸田町

井上 徹

みやこ町

鍋田 一義 広川町

手島 秀男

飯塚市

中村 法久

川崎町

渡邊 吉美

みやこ町

丸山 祐蔵 広川町

安藤 忠

飯塚市

中川 義央

赤村

能方 寛

みやこ町

荒巻 睦生 広川町

原田 孝則

田川市

東 藤三

行橋市

北郷 正治

築上町

佐々木 四十臣 広川町

藤春喜代士

嘉麻市

猪本 英俊

行橋市

成吉 勉

築上町

中村 昭則 大刀洗町

佐藤 恵

嘉麻市

田村 省三

行橋市

山本美恵子

築上町

大平喜代志 大刀洗町

藤測 明宏

宮若市

田辺 正則

行橋市

片峯 孝子

築上町

毛利 輝海 宮若市

芦屋町

宮若市

山口 俊明

行橋市

小林 肇

築上町

古長 撓男 芦屋町

水卷町

水卷町

武内 三雄

行橋市

松井 公俊

行橋市

河野 治 水卷町

大垣 久雄

水卷町

吉永 元昭

行橋市

木下 祐子

行橋市

高瀬 一幸 水卷町

丸内 進

岡垣町

木下 祐子

行橋市

吉永 元昭

行橋市

中葉 允雄 岡垣町

岡垣町

岡垣町

原田 義廣

荇田町

原田 義廣

荇田町

和野 宣文 飯塚市

宮原 登

遠賀町

井上 修

荇田町

青山 伸介

飯塚市

飯塚市

高富 ミツ子

鞍手町

原田 真琴

みやこ町

芳野 松治

飯塚市

【筑豊地区】 三十二名

【南筑後地区】 二名

【京築地区】 二十五名



# 令和7年度「福岡県老人クラブ会員増強運動」

## 会長表彰・特別賞 受賞団体

今年度の会員増強運動表彰は、令和元年度から新たに開始した「会員増強運動」により、令和6年度において著しい成果のあった市町村老人クラブ連合会及び単位老人クラブを表彰するものです。表彰された皆さんをはじめ、会員増強に精力的に取り組まれたすべての会員の皆さんに、心から御礼申し上げます。

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
16	福津市		大和1区シニアクラブ	やまといちく しにあくらぶ	16人 19→35	84%
17			上西郷シニアクラブ	かみさいごう しにあくらぶ	11人 32→43	34%
18			北の二シニアクラブ	きたのに しにあくらぶ	9人 32→41	28%
19			堅川シニアクラブ	たてかわ しにあくらぶ	12人 20→32	60%
20			東町一区シニアクラブ	ひがしまちいちく しにあくらぶ	5人 14→19	36%
21			宮司三区シニアクラブ	みやじさんく しにあくらぶ	3人 15→18	20%
22	那珂川市		山田第二シニアクラブ	やまだだいに しにあくらぶ	3人 16→19	19%
23			谷口シニアクラブ	たにくち しにあくらぶ	7人 46→53	15%
24	粕屋町		長者原下区福寿会	ちようじゃばるしもく ふくじゆかい	14人 67→81	21%
25	筑前町		小田原シニアクラブ	おだばる しにあくらぶ	2人 9→11	22%

### I. 会長表彰

#### (1) 市町村老人クラブ連合会【5団体】

- ①会員が10人以上純増した市町村老連
- ②新設又は復活、未加入クラブの新規加入又は再加入により単位老人クラブが2クラブ以上純増した市町村老連

【福岡地区】1老連 【南筑後地区】1老連 【筑豊地区】2老連 【京築地区】1老連

No.	地区名	老連名	よみがな	増加の内容
1	福岡	太宰府市長寿クラブ連合会	だざいふしちようじゆくらぶ れんごうかい	60人純増
2	南筑後	大牟田市老人クラブ連合会	おおむたしろうじんくらぶ れんごうかい	18人純増
3	筑豊	嘉麻市老人クラブ連合会	かましろうじんくらぶ れんごうかい	2クラブ純増
4		香春町老人クラブ連合会	かからまちろうじんくらぶ れんごうかい	16人純増
5	京築	吉富町寿会連合会	よしとみまちことぶきかい れんごうかい	11人純増

#### (2) 単位老人クラブ【91団体】

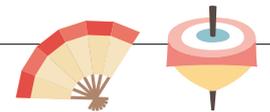
- ・会員数を次の区分に応じて分割し、それぞれに定める割合を乗じて得た人数の合計人数以上の会員が純増した単位老人クラブ。ただし、前年の会員数が20人未満のクラブにあっては、2人以上の純増があった場合に限る。
- ①会員50人以下については15%
- ②会員51人以上100人以下については10%
- ③会員が101人以上については5%

【福岡地区】 25団体

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
1	朝倉市	朝倉支部	落合シニアクラブ	おちあいにしにあくらぶ	10人 36→46	28%
2	筑紫野市		中阿志岐シニアクラブ	なかあしき しにあくらぶ	4人 16→20	25%
3	春日市		春日公園地区シニアクラブ	かすがこうえんちく しにあくらぶ	15人 23→38	65%
4	大野城市		中大利シニアクラブ	なかおおりに しにあくらぶ	11人 23→34	48%
5			東大利シニアクラブ	ひがしおおりに しにあくらぶ	7人 39→46	18%
6			乙金東シニアクラブ	おとがなひがし しにあくらぶ	11人 46→57	24%
7	宗像市		日の里2丁目シニアクラブ	ひのさとにちようめ しにあくらぶ	8人 32→40	25%
8	太宰府市		梅寿会	ばいじゆかい	10人 46→56	22%
9			東宝会	とうほうかい	9人 41→50	22%
10			梅壮会	ばいそうかい	17人 17→19	12%
11			水和会	すいわかい	10人 71→81	14%
12	糸島市		白糸シニアクラブ	しらいとしにあくらぶ	4人 21→25	19%
13			有田シニアクラブ	ありたしにあくらぶ	12人 52→64	23%
14			有田中央シニアクラブ	ありたちゅうおう しにあくらぶ	21人 16→37	131%
15	古賀市		中央シニアクラブ	ちゅうおう しにあくらぶ	5人 23→28	22%

【北筑後地区】 18団体

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
1	久留米市		八丁島シニアクラブ	はちちようじま しにあくらぶ	16人 86→102	19%
2			宮園シニアクラブ	みやぞの しにあくらぶ	14人 26→40	54%
3			津福今げんきかい	つぶくいま げんきかい	10人 70→80	14%
4			川会校区第6老人クラブ	かわいこうくだいろうく ろうじんくらぶ	2人 13→15	15%
5			田主丸町健康いきいき老人クラブ	たぬしまるまちけんこう いきいきろうじんくらぶ	6人 25→31	24%
6			六町原老人クラブ	ろくちようばる ろうじんくらぶ	7人 29→36	24%
7	八女市	八女支部	八女支部レジェンドクラブ	やめしぶ れいえんどくらぶ	2人 11→13	18%
8		黒木支部	上田代老人クラブ	かみたしろ ろうじんくらぶ	4人 22→26	18%
9			城ノ原長命会	じょうのはる ちようめいかい	5人 31→36	16%
10			東老人クラブ	ひがしろうじんくらぶ	8人 16→24	50%
11			上陽支部	上陽G・Gクラブ	じょうよう くろうんどごるふくらぶ	3人 9→12
12	うきは市		持木老人クラブ	もてぎろうじんくらぶ	3人 11→14	27%
13			糸丸三友会	いとまるさんゆうかい	8人 48→56	17%
14			橋田シニアクラブ	たちばなだ しにあくらぶ	6人 40→46	15%
15			吉井第6クラブ	よしい だいろくくらぶ	2人 19→21	11%
16			江南第1クラブ(新治)	えなみだいいちく らぶ(にいはる)	2人 5→7	40%
17	広川町		梯シニアクラブ	かけはし しにあくらぶ	2人 15→17	13%
18			川瀬北シニアクラブ	かわぜきた しにあくらぶ	7人 17→24	41%



No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
27	香春町		柿下老人クラブ	かきした ろうじんくらぶ	12人 36→48	33%
28			鏡山小富士会	かがみやま こふじかい	10人 37→47	27%
29	添田町		町二老人クラブ	まちに ろうじんくらぶ	2人 18→20	11%
30	糸田町		緑会二	みどりかいに	2人 14→16	14%
31	川崎町		本町和会	ほんまちなごみかい	4人 23→27	17%
32			大島お元気クラブ	おおしま おげんきくらぶ	4人 16→20	25%
33			紫陽花の会	あじさいのかい	3人 19→22	16%

【京築地区】 8団体

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
1	行橋市		大橋老人クラブ	おおはし ろうじんくらぶ	8人 24→32	33%
2			田町さくら会	たまちさくらかい	14人 25→39	56%
3			下津熊老人クラブ	しもづくま ろうじんくらぶ	2人 10→12	20%
4	みやこ町	豊津支部	節丸老人クラブ	せつまる ろうじんくらぶ	17人 35→52	49%
5	築上町		上築城老人クラブ	かみついき ろうじんくらぶ	30人 41→71	73%
6	吉富町		土屋地区寿会	つちやちく ことぶきかい	15人 11→26	136%
7	上毛町		垂水下老人クラブ	たるみしも ろうじんくらぶ	4人 26→30	15%
8			唐原東区老人クラブ	とうばるひがしく ろうじんくらぶ	11人 21→32	52%

II. 特別賞

- ①未設置地域に新設された単位老人クラブ 【9団体】
- ②休会・解散状態から復活した単位老人クラブ 【7団体】

【福岡地区】6団体 【北筑後地区】2団体 【南筑後地区】2団体 【筑豊地区】5団体 【京築地区】1団体

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	新設・ 復活	会員数
1	太宰府市		グリーンクラブ	ぐりーんくらぶ	新設	51人
2	糸島市		松原シニアクラブ	まつばら しにあくらぶ	復活	60人
3			鹿家シニアクラブ	しかか しにあくらぶ	復活	5人
4			上新町シニアクラブ	かみしんまち しにあくらぶ	復活	18人
5			ひとつむぎの会	ひとつむぎのかい	新設	2人
6	志免町		クラブサンリヤン	くらぶさんりやん	新設	35人
7	久留米市		椿シニアクラブ	つばき しにあくらぶ	新設	6人
8	八女市	八女支部	三河レジェンドクラブ	さんごう れじえんどくらぶ	新設	19人
9	大牟田市		さくら老人クラブ	さくら ろうじんくらぶ	新設	30人
10	柳川市	大和支部	下棚町老人クラブ	しもたなまち ろうじんくらぶ	復活	19人
11	飯塚市	飯塚支部	新花瀬ひまわり会	しんはなせ ひまわりかい	新設	14人
12	嘉麻市	稲築支部	緑ヶ丘老人クラブ	みどりがおか ろうじんくらぶ	新設	15人
13			鴨生町老人クラブ	かもおまち ろうじんくらぶ	新設	19人
14	宮若市		桐野本区友桐会	きりのもとく ゆうぎりかい	復活	27人
15	赤村		上赤西老人クラブ	かみあかにし ろうじんくらぶ	復活	15人
16	上毛町		土佐井老人クラブ	つちさい ろうじんくらぶ	復活	19人

【南筑後地区】 7団体

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
1	大牟田市		楽友会	らくゆうかい	8人 19→27	42%
2			希望ヶ丘高齢者の会	きぼうがおか こうれいしゃのかい	5人 12→17	42%
3	柳川市	柳川支部	向日葵会	ひまわりかい	3人 14→17	21%
4			鶴亀会	つるかめかい	2人 18→20	11%
5			大和支部	中開老人クラブ	なかびらき ろうじんくらぶ	10人 29→39
6	みやま市		徳寿会	とくじゅかい	5人 25→30	20%
7			下町シニアクラブ	したまち しにあくらぶ	4人 14→18	29%

【筑豊地区】 33団体

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	よみがな	増加数 R6→R7	増加率 (%)
1	飯塚市	穂波支部	万年青年	まんねんせいねん	9人 31→40	29%
2			明青会	めいせいかい	2人 18→20	11%
3			延寿会	えんじゅかい	5人 11→16	45%
4	飯塚市	筑穂支部	栄町 栄老会	さかえまち えいろうかい	2人 14→16	14%
5			北古賀 親和会	きたこが しんわかい	7人 20→27	35%
6			下揚シニアクラブ	しもあげ しにあくらぶ	5人 16→21	31%
7	田川市		桜町老人クラブ 桜寿会	さくらまちろうじん くらぶ おうじゅかい	23人 26→49	88%
8	嘉麻市	山田支部	三菱第1老人クラブ	みつびしだいいち ろうじんくらぶ	2人 8→10	25%
9			稲築支部	鴨生第1老人クラブ	かもおだいいち ろうじんくらぶ	4人 7→11
10		岩崎老人クラブ		いわさき ろうじんくらぶ	8人 37→45	22%
11		嘉麻市	嘉穂支部	椎木クラブ	しいのきくらぶ	7人 30→37
12	千手第5クラブ			せんず だいくらぶ	19人 22→41	86%
13	上牛隈老人会			かみうしくま ろうじんかい	14人 39→53	36%
14	中間市		福寿会	ふくじゅかい	4人 17→21	24%
15	宮若市		太蔵中区明正会	たぐらなかく めいせいかい	3人 12→15	25%
16	水巻町		青葉会	あおばかい	4人 26→30	15%
17			ふれあい会	ふれあいかい	4人 24→28	17%
18			楓シニア会	えぶりしにあかい	2人 9→11	22%
19			若葉会	わかばかい	2人 11→13	18%
20	岡垣町		新海老津寿会	しんえびつ ことぶきかい	6人 32→38	19%
21	鞍手町		中山北区元生会	なかやまきたく げんきかい	7人 17→24	41%
22	桂川町		九郎丸老人クラブ	くろうまる ろうじんくらぶ	2人 18→20	11%
23	香春町		長光老人クラブ	ながみつ ろうじんくらぶ	9人 24→33	38%
24			ぎんなんの会	ぎんなんのかい	22人 5→27	440%
25			宮尾老人クラブ	みやお ろうじんくらぶ	5人 29→34	17%
26			豊産コスモス	ほうさんこすもす	8人 37→45	22%

# 老人クラブ会員向けに

## 傷害保険・賠償責任保険で

**安心  
補償**

全国老人クラブ連合会では所属の単位老人クラブの会員向けに、もしもの時にそなえる保険をご用意しています

### 老人クラブや会員だけが利用できる保険です。

全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および  
市区町村老連に所属している単位老人クラブが加入できます

ご自身のケガの補償

### 老人クラブ傷害保険

24時間型 活動型

自分がケガをしてしまった時の保険です。



会員は所属クラブを通じての任意加入となります。

相手の物、ケガの補償

### 老人クラブ賠償責任保険

他人の物を壊したり、  
ケガをさせた時の保険です。



クラブ全会員での加入が条件となります。

### 新規加入をご検討のクラブ(会員)へ

#### ★クラブの保険担当者を1名お決めください

※保険担当者とは・・・加入者の取りまとめ、加入申込書の記入、申込内容確認の窓口等をしてくださる方です。会長様は特に登録いたしませんので実務をしてくださる方をご登録ください。全老連保険係や保険会社から照会の連絡が入る場合があります。

#### ★加入申込書のご請求

以下の項目を明記のうえFAXまたはハガキまたはEメールで全国老人クラブ連合会「保険係」まで資料請求してください。お電話でも承ります。

- ①所属の市区町村老連名
- ②単位老人クラブ名
- ③保険担当者氏名
- ④郵便番号
- ⑤住所
- ⑥電話番号
- ⑦全会員数
- ⑧加入予定人数
- ⑨希望の保険(傷害保険または賠償責任保険または両方)

資料請求 / お問い合わせ先



**公益財団法人 全国老人クラブ連合会** 保険係

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

加入申込書等、  
資料請求先

**専用FAX03-3597-8767**

お問い合わせ先  
ご相談

**03-3597-8770**

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス [hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

受付時間 9:30から12:00まで 土、日、祝祭日、  
13:00から17:00まで 年末年始休

※この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険、総合生活保険(傷害補償))」と「老人クラブ賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要・重要事項説明書」等をよくお読みください。ご不明な点につきましては、全老連「保険係」までお問い合わせください。

# 2025年度 指定旅館のご案内

## 指定旅館をご存知ですか？

指定旅館は、老人クラブ会員の皆さんが会員相互の親睦を図る場として、老人クラブ会員限定のサービスの提供が可能な施設をご案内する福岡県老連の福利厚生事業です。

研修旅行や家族旅行の際にご利用いただくために、毎年度全ての指定旅館を掲載した「指定旅館のご案内」（カラー印刷25ページ程度）の冊子を全部の単位老人クラブに配布しています。

### ○個人情報保護法との関連

- ・指定旅館と福岡県老連は、福利厚生事業のため福岡県老人クラブ名簿を共同利用しています。
- ・「指定旅館のご案内」の末尾に指定旅館の個人情報管理責任者の氏名を記載しています。この情報管理責任者の責任において、転写の禁止・情報漏えいの防止など個人情報を管理しています。

- ※ **申込みの際に、福岡県老人クラブ連合会会員（単位老人クラブ名等）であることを伝えてください。**
- ・指定旅館からの賛助収益は、県老連の事業を実施するための大きな財源となっております。積極的にご利用いただきますようお願いいたします。
- ・**2024年度の指定旅館から退会された旅館・ホテルがありますので、「2025年度指定旅館のご案内」をよくご確認ください、ご利用ください。**

## 指定旅館の手引き

### 1. 直接、「指定旅館」へ電話し、まず、次のことを伝えてください。

- ①「福岡県老人クラブ連合会」の会員であること（必須）
- ②市町村名、単位老人クラブ名、申し込み代表者名・連絡先
- ③利用日時（宿泊か日帰りか）、利用人数（男性○人、女性△人）
- ④希望するプランまたは予算（食事は2食か、3食か、4食か）
- ⑤グラウンドゴルフ場、会議・研修室、送迎などの特別な希望
- ⑥（必要に応じて）見積書を送ってもらえるかどうか



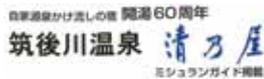
### 2. 指定旅館側の説明（見積書）を確認し、申込み時には、次の点にご留意ください。

- ①見積書（特別な希望の費用を含む）が、予算や想定額の範囲内かどうか
- ②特別な希望に、伝えられなかったかどうか
- ③人数変更やキャンセルを申し出る際の条件  
（申し出期間およびキャンセル料の割合）

### 3. 送迎バスの利用については、指定旅館側の説明を丁寧に聞き、無理な要求をしないようにしてください。（道路運送法上の規制・制限があります）

2025年度

## 親睦旅行は指定旅館で決まり!

県名と 位置番号	指 定 旅 館 名	住 所	電話番号 F A X 番号
福 岡	① 	838-0068 福岡県朝倉市甘木2091	0946-22-3344 0946-24-1067
	② 夕日の見える割烹宿 和風旅館 華杏弥太楼	811-3521 福岡県福津市勝浦530-2	0940-62-3282 0940-62-3941
	③ 	833-0015 福岡県筑後市津島2108-1	0942-42-1126 0942-42-1125
	④ 	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1096-1	0943-77-3181 0943-77-3605
	⑤ 	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1097-1	0943-77-2110 0943-77-2079
	⑥ 	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-3	0943-77-2188 0943-77-3270
	⑦ 	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-8	0943-77-3131 0943-77-7450
	⑧ 温泉、料理、観光と笑顔でおもてなしの宿 筑後川温泉 川畔のお宿 桑之屋	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-10	0943-77-2148 0943-77-2700
	⑨ 	832-0057 福岡県柳川市弥四郎町10-1	0944-72-6295 0944-72-6296
	⑩ 	838-0821 福岡県朝倉郡筑前町上高場795	0946-23-0001 0946-23-0011
熊 本	⑪ 	861-0804 熊本県玉名郡南関町大字関村1556	0968-69-6111 0968-69-6116
	⑫ 天然温泉の宿 玉名ファミリー温泉旅館	865-0061 熊本県玉名市立願寺428	0968-74-3888 0968-74-3889
	⑬ 	865-0061 熊本県玉名市立願寺東段656-1	0968-72-7777 0968-72-7783

※詳細な内容については、各単位クラブに配付しております「2025年度 指定旅館のご案内」で  
ご確認ください